

大人気ヴァイオリニスト アリーナ・イブラギモヴァ率いる

キアロスクーロ・カルテット

ヴァイオリン

・パブロ・エルナン・ベネディ・

チェロ

・クレール・ティリオン・

ヴィオラ

・エミリエ・ヘンシルント・

ヴァイオリン

・アリーナ・イブラギモヴァ・

PROGRAM

パーセル 4声のファンタジア

H. PURCELL Fantasia a 4

第7番ハ短調、第8番ニ短調、第11番ト長調

No.7 in C Minor Z. 738, No.8 in D Minor Z. 739, No.11 in G Major Z. 742

ハイドン 弦楽四重奏曲第2番変ホ長調「冗談」

J. HAYDN String Quartet No.2 in E flat major, op.33, "The Joke"

シューベルト 弦楽四重奏曲第13番イ短調「ロザムンデ」

F. SCHUBERT String Quartet No.13 in A Minor, D804, "Rosamunde"

旋風ふたたび、次世代の四重奏

カルテット

CHIAROSCURO QUARTET

©Eva Vermandel

2024. 3/30(土) 2:00PM開演 (1:30PM開場)
A ¥5,000 B ¥4,000 (税込/全席指定)

兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール
〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22 阪急西宮北口駅南改札口すぐ/JR西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

一般発売

11/26
(日)

芸術文化センター
チケットオフィス

インターネット予約

※窓口での販売(残席がある場合)は11/28(火)より

0798-68-0255

(10:00AM-5:00PM 月曜休み ※祝日の場合翌日)

<https://www.gcenter-hyogo.jp>

芸術文化センター会員
先行予約受付開始

11/25(土)

※未就学児はご入場いただけません。
※やむを得ない事情により、出演者・曲目等が
変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。



兵庫県立
芸術文化センター



主催：兵庫県、兵庫県立芸術文化センター

ヨーロッパ中を席卷する無二の響き

芸術文化センターでも大人気、今最も注目を浴びるヴァイオリニストのひとり、アリーナ・イブラギモヴァ率いる若き4人組。コロナ禍による2度の来日中止を経て、待望の、そして満を持して芸術文化センター3度目の登場です。

特筆すべきは、唯一無二の斬新な奏法。「キアロスクーロ(イタリア語で「明暗」)」の言葉のとおり、バロック絵画のような鮮烈な光と影を現代に生き生きと描き出す、ガット弦による知的な演奏スタイルです。

ピリオド楽器の清澄な響きがいち早く春を感じさせる、彼らだけの特別なプログラムをお届けします。

冒頭は英国バロックを代表する作曲家パーセル。ロンドンで出会った若き才能たちが約350年前にその地で生まれた楽曲を瑞々しく蘇らせます。そして、本カルテットが得意とし多数録音もしているハイドン、2016年の初登場で演奏した「死と乙女」が衝撃的だったシューベルト、と時代を下りながら、様々な弦楽四重奏の表情を見せてくれるに違いありません。

極上のひとときが、ここに約束されています。



≡ アリーナ・イブラギモヴァ(ヴァイオリン) • Alina Ibragimova, violin ≡

≡ パブロ・エルナン・ベネディ(ヴァイオリン) • Pablo Hernan Benedi, violin ≡

≡ エミリエ・ヘーシホルム(ヴィオラ) • Emilie Hörnlund, viola ≡

≡ クレール・ティリオン(チェロ) • Claire Thirion, cello ≡

©Eva Vermandel

ヒストリカルで新鮮なアプローチをガット弦で演奏するキアロスクーロ・カルテットは2005年に結成。そのしなやかで優雅でダイナミックな演奏は、並外れたユニークな音色だけでなくアンサンブルに知性ある姿を兼ね備え、ヨーロッパの聴衆から高い評価を受けている。

近年の主な活動は、エジンバラ国際音楽祭のデビュー、2013年プレーメン音楽祭を共催しているドイツのラジオ放送局の激励賞を受賞。2015年6月ウィーン・コンツェルトハウスのデビュー、この他ロンドンのウィグモア・ホール、ヨーク古楽センター、パリのルーヴル・オディトリウム、エクサン=プロバンスのジュ・ドゥ・ボーム劇場、リスボンのグルベンキアン財団、オールドバラ音楽祭等で演奏。また2016年、初めての日本ツアーで東京、神奈川、兵庫で演奏会を行う。2017/2018シーズンでは、イギリスのエジンバラ音楽祭、スネイプ(サフォーク州)、ロンドン、ヨークで、またケルン、ザルツブルク、リスボン、スイス・グシュタードのメニューイン音楽祭で演奏、2019/20シーズンでは、ロンドンのウィグモア・ホールとキングス・プレイス、ベルリンのブルーエズ・ザールのデビュー、ボンのベートーヴェン・ハウスでのベートーヴェンの弦楽四重奏曲の演奏の他、ルクセンブルク、リスボン、ワルシャワ等ヨーロッパ中の会場や音楽祭で演奏。2022/2023シーズンのハイライトは、ロンドンのウィグモア・ホール、ベルリンのブルーエズ・ホールでの再演の他、北米ツアーで、ボストンのジョージ・ホールを含むプリンストン、サンフランシスコ、バンクーバー、モントリオールの各都市で公演を行う。

2016年、スウェーデンのBISレーベルと録音契約を結び、ハイドン弦楽四重奏曲作品20/1-3をリリース、続いて2017年ハイドン弦楽四重奏曲作品20/4-6をリリースして「太陽四重奏曲」を完結する。2018年シューベルト弦楽四重奏曲第14番「死と乙女」をリリース。2020年ハイドンの弦楽四重奏曲作品76をリリース、2021年ベートーヴェン弦楽四重奏曲集作品18の1番〜3番を、2022年ベートーヴェン弦楽四重奏曲集作品18の4番〜6番をリリース。最新の録音は、2023年モーツァルトのプロシヤ王セットとハイドンの弦楽四重奏曲作品33「ロシア四重奏曲」第1番、第2番、第3番をリリース。

これまで室内楽でトレヴァー・ピノック、クリスティアン・ベザイデンホウト、セドリック・ティベルギアン、ジョナサン・コーエン、マルコム・ビルソン、チェロのクリストフ・コワンとクリスチャン・ポルテラと共演。

2009年からポール・ロワイヤル修道院のレジデントとしてモーツァルト弦楽四重奏曲のチクルスを行っている。



<https://www.gcenter-hyogo.jp>

兵庫県立芸術文化センター
Hyogo Performing Arts Center

先行予約会員へのご登録はこちら



便利なアクセス!!

大阪梅田からも神戸三宮からも

ホールまで15分

(阪急電車特急乗車の場合)

◎ 阪急 西宮北口駅 南改札口 スグ(連絡デッキで直結)

◎ JR 西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

※ご来場は、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。

アクセス

